

# 県民向けサービス連携基盤とは

「県民向けサービス連携基盤」は令和4年度に福井県が整備し、導入したデータ連携基盤です。

## <目的>

インターネット上で提供される様々なサービス間で、利用者の許諾の下でそれぞれのサービスが保有するデータを相互に連携させ、分野や組織の壁を越えて活用することによって、これまでになかった便利なサービスを提供したり、煩雑な登録手続きを一元化、省力化したりすることを目的とした、生活のDXを加速させる基盤（インフラ）です。

## <利用対象者>

県だけではなく、県内の市町や民間事業者の方にも利用を開放しています。

## <主な機能>

- 汎用的なAPIによって様々なサービスに接続することができます。
- 様々なサービスに分散したデータを必要な時に参照することができます。
- 個人認証には、マイナンバーカード等を活用した公的個人認証を利用しています。

## <セキュリティ>

サービス間でどのようなデータが連携（提供）されるかは利用者ご自身で管理することができます。

（自動的にすべてのサービスがつながってしまい、意図しない情報が提供されることはありません。）

また、連携基盤上で提供されるサービスは事前審査において合格したもののみが搭載されます。

さらに、いつ、どのサービスが、どんな情報を提供したかの記録は保存されており、後から監査を行うことができます。

## <備考>

より詳細な情報は福井県のHPを参照ください。

[県民向けサービス連携基盤について | 福井県ホームページ](#)



## 連携サービスの 拡張イメージ（例）

